

計画をあらかじめ公表して試験を複数回実施することや、近隣の自動車教習所にもポスターを掲示するなど、人材の確保に努めます。

市域全体の地域公共交通の在り方は、令和7年度に目標年次を迎える総合交通戦略の改定に合わせて検討していきます。

医療的ケア児 災害時の支援は

議員 医療的ケア児は、災害時に人工呼吸器など命に直結する機器の電源確保等も課題になるとのことですが、災害時における医療的ケア児とその家族に対する支援・対応策の現状と今後の方針等について、市の見解を伺います。

市長 医療機関や関係機関と連携し、事前情報を発信するとともに、平素より医療的ケア児の把握に努め、災害時の対応等に関する情報提供を行っています。今後も災害時を想定したシミュレーションの実施等

を通じて、引き続き災害時における医療的ケア児の適切な支援に努めます。

ペット同伴 専用避難所の開設を

議員 ペット同伴専用避難所の開設を要望する声もたくさん届いており、開設検討が急務だと認識していますが、市の見解は。

市長 本市では、ペットを同行して指定緊急避難場所等に避難する同行避難が可能ですが、ただし、アレルギーを持つている方等へ特別な配慮が求められるため、ペットの避難場所は風雨等をしのげる場所を想定しています。避難所は地域の方と運営するため、飼養者も含め、各避難所の運営マニュアルでルールを定めることが必要と考えています。

困難女性支援法 施行後の取り組みは

議員 女性支援新法が制定された背景や目的を伺い

ます。また、他市に先駆けて取り組まれたことも踏まえた施行後の市の方針は。

市長 昭和31年制定の売春防止法に基づき、要保護女子への保護更生を目的に支援が行われてきましたが、より実態に即した支援が求められるため、本年4月に施行されます。

本市は平成30年度から婦人相談員を配置し、女性が抱える様々な課題への相談支援やひとり親家庭への支援など、女性への包括的な支援を実施してきました。今後も法の趣旨を踏まえ、相談者が抱える問題や心身の状況等に応じ最適な支援が受けられるよう努めます。

インクルーシブ遊具 利用方法等の周知を

議員 芥川公園の再整備において、インクルーシブ遊具を設置することですが、意義や目的、利用に関する周知の考えは。

市長 同公園の再整備は、「誰もが共に遊び楽しめる

公園」をコンセプトに、日常的に利用している近隣の保育園や障がい者団体の意見も踏まえ安全性・利便性の向上に取り組んでいます。また、障がいの有無にかかわらず誰もが一緒に遊べるインクルーシブ遊具や、乳幼児用遊具の整備を予定し、多様な人々が遊びを通じて新たな交流を生み出す場となることを目指しています。遊具の目的を多くの人に知っていただき、適切に利用されるよう関係団体と連携して取り組みます。



▲再整備が予定される芥川公園



▲インクルーシブ遊具 (イメージ)

代表質問とは？

年に1度、市長の施政方針に対し、発言者が各会派を代表して質問することを代表質問と言います。

通常は新年度に向けての施政方針説明が行われる3月定例会で行いますが、市長選挙のある年は選挙後の最初の定例会で行います。

質問を行うときは、所属議員が多い会派から順番に行います。

